

図画工作科学習指導案

単元名：

「ぼくのわたしの大切な風景」

(全?時間扱い中 第1時)

授業日時 2019年9月12日(木) 第5校時

授業学級 6年東組

授業会場 6年東組教室

授業者

指導者

(1) ねらい

児童は、教師が示す描き方を見ながら、その技法を実際に自分の作品に取り入れることができる。

(2) 授業のポイント

・立体的な描き方を学び、自分の絵に取り入れることができる【授業者の手立て】

(3) 展開

過程	学習活動	○授業者の主発問・◇留意点・★教材・◎児童	時間
導入	1. 導入  2. 描き方の説明&本時の活動の説明	<p>○「みんなも来年はこの小学校を卒業するよね。6年間過ごしてきた中でみんなにとって一番思い出深い場所ってあるかな?みんなにはこれから学校の中の思い出の場所や風景を描いてもらいます。」 (意図) 本時の活動を説明するため</p> <p>○「で、みんなには好きな場所を描いてもらうんだけど、今日はまず6東の教室で描き方を練習してみましよう。この写真は先生が撮った6東の教室なんだけど、まずは鉛筆で下書きだよ。みんなだったらどんな風に描きたい?」</p> <p>◎「上手く描きたい。」「リアルに描きたい。」「立体的に描きたい。」 (意見が出なかったら) ○「どうせ描くなら、リアルに描きたいよね。今日は、みんなが描きたい場所に行って描く前に先生が立体的な教室の描き方を説明しようと思います。」 タブレットで手元を映しながら説明 ◇あらかじめ6東の教室の写真を撮っておく</p> <p>○「まず、これとこれだったらどっちがリアルに見えるかな?こっちだと思う人?」(平面的な描き方の絵と、立体的な絵を示す)</p> <p>○「立体感を出すポイントとしては、まずは一番奥になる場所を決めます。奥にあるものは小さく、手前の物は大きく描いていきます。」</p> <p>◎「へー。ああやって描くのか。」</p>	10

		【学習課題】立体的な描き方を学び、自分の絵に取り入れよう	
展 開	3. 児童の活動	<p>◇練習用画用紙を配る</p> <p>○「では今から、狭いけれど教室の好きな場所に移動して、みんなで練習してみましょう！」</p> <p>◎「先生が描いていたのを参考に描いてみよう。」</p> <p>◇時間で区切って、活動の目安を明らかにする</p> <p>○「では、最後に今から全員の机を回ってどんな絵を描いたか見てみましょう。みんな自分の描いた絵が分かるように机においてください。」</p>	30
	4. 相互評価	<p>★机を回ってそれぞれの作品を見る</p> <p>◇感想や○○さんの作品が良いと答えてくれそうな児童がいたら指名する</p>	3
		<p>【評価（対象）】児童が描きたい場所の見通しを持ち、それらを自身の作品として制作することができる（作品&amp;発表）</p>	
終 末	5. まとめ	<p>○「今日は教室を練習したけれど、みんなも描きたい場所を考えておいてください。」</p> <p>◎「今日やった活動を生かして、早く描きたいな。」</p>	2